

『成徳幼稚園』が第16回キッズデザイン賞を受賞！

新園舎のコンセプトは、学び・遊びの風景がつながる空間、
健康的な保育環境、園児の感性を育む内装計画。

学校法人東京成徳学園（東京都北区：理事長木内秀樹）の設置する成徳幼稚園（東京都北区：園長木内秀樹）が、この度「第16回キッズデザイン賞」（主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会）を受賞しました。

成徳幼稚園では2022年1月までの新園舎建築計画で、【①学び・遊びの風景がつながる空間、②健康的な保育環境、③園児の感性を育む内装計画】の3つのコンセプトをもとに設計・施工を行い、より良い園環境へと生まれ変わりました。この設計、デザインが、第16回キッズデザイン賞における「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」で評価されることとなり、この度の受賞となりました。

今回の受賞を通じて、成徳幼稚園がこれまで以上に地域の皆様から愛され、親しまれる幼稚園となること、また学校法人東京成徳学園の認知度がより一層広がることを目指します。そして、キッズデザインの目指す社会づくりに貢献できるよう努めてまいります。

■ 受賞内容

- ＜受賞作品名＞ 成徳幼稚園
＜受賞部門＞ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門
＜設計・施工＞ 設計・監理：株式会社三菱地所設計
施工：株式会社フジタ

■ 成徳幼稚園新園舎写真



住宅地に佇む園舎と園庭



学びと遊びの風景がつながる



トップライトから日が射す遊戯スペース

■ 学校法人東京成徳学園 / 成徳幼稚園について

学校法人東京成徳学園は、1926年本学園の前身となる王子高等女学校の創立からはじまります。学園の建学の精神を「成徳」すなわち「徳を成す人間の育成」とし、現在では、大学、大学院、短期大学、高等学校、中学校、幼稚園を設置。2026年には学園創立100周年を迎えます。

成徳幼稚園は、1953年に東京成徳幼稚園として開園。2023年で開園から70周年となります。東京都北区を中心に、長年「せいとく」の愛称で地域の皆様から親しまれ、2022年3月までに13,000名を超える園児が卒園しています。

「健康で心の豊かな子どもを育てたい」成徳幼稚園では、おおらかな情操をもち、愛情豊かな子どもに育てます。また、年間を通しての水泳指導などでたくましい体力づくりを行い、健康で健やかに、そして挨拶など社会的習慣を身につけ、基本的生活がしっかりできる子どもを育ててまいります。

- ・東京成徳学園ホームページ <https://www.tokyoseitoku.ac.jp/>
- ・成徳幼稚園ホームページ <https://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind/>

■ キッズデザイン賞とは



キッズデザイン賞は、「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に2007年に創設されました。

子ども用にデザインされたものはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てに配慮されたデザインであればすべてが対象です。

- ・キッズデザイン賞ホームページ <https://kidsdesignaward.jp/>

▼本件に関する問い合わせ先
学校法人東京成徳学園
法人本部企画調査室 龍野
TEL : 03-3911-2411
Mail : kouhou@tokyoseitoku.ac.jp

成徳幼稚園 教頭 梶山
TEL : 03-3911-6377